

星の舟唄

(平成二十年度寮歌)

黒瀬智子君 作歌・作曲

一

雪^{ゆき}どけ五月^{さつき}晴^ばれ短^{みじか}い夏^{なつ}の日^ひ々^び
黄^{こが}金^ねのいちよう並^{なみ}木^きくぐれば木^こ枯^がらし
あしたも同^{おな}じ夕^{ゆう}日^ひが沈^{しず}むだろ
青^{せい}春^{しゅん}は退^{たい}屈^{くつ}だと誰^{だれ}か歌^{うた}う

二

まどろむ子^こ守^{もり}唄^{うた}人^{じん}生^{せい}の哲^{てつ}学^{がく}
雲^{くも}にかくれて消^きえる木^こもれびの夢^{ゆめ}
眠^{ねむ}りをさまようまぶた開^{ひら}け
まこと学^{がく}成^なりがたし月^{つき}が笑^{わら}う

三

悠^{ゆう}々^{ゆうく}暮^くらすこの若^{わか}さを持^もて余^{あま}し
港^{みなと}にたどりつくさだめなき小^こ舟^{ふね}
目^めじるし一^{ひと}つの星^{ほし}追^おいかければ
流^{りゅう}星^{せい}雨^{あめ}のごとく目^めをくらます

四

あまたの先^{せん}人^{じん}が説^とく壮^{そう}大^{だい}真^{しん}理^り
この脳^{のう}はそ知^しらねども目^めの前^{まえ}にあるは
瞳^{ひとみ}の暁^{あかつき}うつくしき人^{ひと}
千^{せん}の論^{ろん}説^{ぜつ}より多^{おほ}くを語^{かた}る

五

つつましい志^{こころざし}が正^{ただ}しき答^{こた}えか
道^{みち}草^{くさ}のかたわらに咲^さく花^{はな}もある
学^{まな}べよ遊^{あそ}べよ恋^{こい}せよ舟^{ふね}は
風^{かぜ}が導^{みちび}くまに青^{あお}き帆^ほを張^はる